

動物愛護の問題を考えてみました… おおいた動物愛護センター を訪問



原田たかし 活動報告



先日、日田市で起きた多頭飼育の問題が報道されていました。「ゴミ屋敷」状態になっていた家に猫が約100匹おり、餌を求め感染症で弱っていたそうです。家主は入院中で、猫たちは不妊手術をしていなかったために3年間で激増したとのことでした。

そうしたこともあり、先日、久しぶりにおおいた動物愛護センターに行き現状をお聞きするとともに、犬の譲渡会の様子を見学してきました。

おおいた動物愛護センターは、2019年に大分市大字廻栖野にある九州乳業のみどりの王国「マザーランド」内にオープンしました。

ここは、大分県と大分市が共同設置・運営する施設で、設立趣旨として、

- ①責任ある飼育の指導と啓発
- ②動物福祉の教育と共生意識の醸成
- ③収容犬・猫の返還と譲渡
- ④災害等緊急時被災動物の避難救護活動拠点

の4つを掲げています。犬や猫の譲渡会やしつけ教室も行われ、ドッグランを利用することもできます。

お話を聞きした金城巳代志所長によると、開設から累計で犬が810頭、猫が1,780匹ここから譲渡されたそうです。殺処分については、年々減少しているようで犬の殺処分は少なくなったものの、まだまだ猫の殺処分は多いようです。



このセンターに犬猫がやってくる理由として、飼い主が亡くなったり、飼い主不明で保護されたというケースが多いそうです。なお、飼い主の個人的な事情による引き受けは断っているとのことでした。



たくさんの方が参加されていました
(写真は一部加工しています)

譲渡に関しては、若い犬は譲渡希望が多いようですが、年齢が進んだ犬は希望が少ないと言われていました。

猫は収容している数が多いため、引取先が見つからず残ってしまうことが多いようです。

譲渡会では毎回、ボランティアグループの方々がスムーズに譲渡が進むようサポーターとしてお手伝いされているそうです。

動物を飼う場合、最後までずっと飼い続けることができるのか、飼えなくなった場合には引き続いて飼ってくれる方がいるのかなども考えておかなければなりません。



たくさんの方に囲まれ、多少、緊張している様子の犬もいました
(写真は一部加工しています)

安易に「かわいいから…」だけでは済まされないのが、動物を飼うということだと思います。

今回の譲渡会に出ていた犬の中には、山中で保護されたという犬も複数いました。首輪や鑑札（登録証）もなく（もしかすると意図的に外されていたのかもしれませんが…）、山中を彷徨っていたのでしょうか。動物愛護の問題は飼い主のモラルであり責任の問題ではないのでしょうか。

私の家にも、穴掘りが大好きでおてんばな犬がいますが、癒やしてくれる家族であり、最後まで寄り添います。いや、私の方が寄り添ってもらっているのかもしれませんが…



どちらも山中で保護されたそうです

原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いしています。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内